

平成28年度

いばらき輝く教師塾

茨城県教育研修センター

第4日 10月22日(土)

<講義>

子どもたちが輝く授業づくり

講義資料



茨城県教育研修センター教科教育課
指導主事 井上 秀次

【要旨】

- ・学習指導の充実を図るためには、何を、どのように指導するのかをしっかりと把握すること、児童生徒一人一人をよく知ること、教材研究を十分に行うことが重要である。
- ・教材研究の内容として、1時間の授業における導入、展開、終末のそれぞれの目的を捉えること、指導目標に合った教材を検討することなどが挙げられる。また、授業のねらいに迫るための活動を設定することが重要である。
- ・よりよい評価の第一のポイントとして、適切な評価規準を設定することが大切である。「おおむね満足できる」状況を児童生徒の具体的な姿として設定することが、指導と評価の一体化につながる。

<実践発表>

子どもたちが輝く授業づくり

講義資料



鉾田市立上島西小学校
教諭 飯島 敏子

【要旨】

- ・子供たち一人一人を輝かせるということは、子供たちが主体的に活動できるようにしなければ達成できない。
- ・授業においては、担任と子供たち、子供同士、教職員、保護者、地域等との関係づくりが大切である。授業づくりは、コミュニケーションからはじまる。
- ・授業の組立においては、子供の得手・不得手を見つけ、発問を工夫するなどの対応方法を考えることが大切である。
- ・外国語活動は、コミュニケーションを軸とした活動であり、ゲームやグループでの学び合いなどの工夫で、楽しくコミュニケーションを図ることができる。

＜ワークショップ④＞
子どもたちが輝く授業づくり





塾生のアンケートより

- 授業や学校生活において、子どもたち一人一人に目標をもたせるような環境づくりが大切だと思った。【学生】
- 授業力は、教師にとって重要な資質能力であり、常に授業力の向上を目指して取り組んできた。本日の研修で課題解決の新たな手立てを見付けることができた。【若手教員】
- 子どもたちが輝く授業づくりには、教材研究などの準備だけでなく、日常の子どもたちとの人間関係づくりが重要であると改めて感じた。【学生】
- 子どもたちが輝く授業づくりの講義において、授業づくりに関する具体的な取組事例が示されたので、すぐにでも活用しようと思った。【若手教員】
- 本日の講義とワークショップは、これまでの授業を改めようと思う良い機会となった。教科書の内容をそのまま教えるのではなく、身近な内容や生活に関わることを加え、生徒が自ら学びたいと思えるような授業づくりを心掛けていきたい。【若手教員】
- 子どもたちを輝かせる授業を実践するためには、しっかりと子どもたちの実態を把握した上で、授業のねらいを明確にし、子どもたちへの指導の手立てを考えることが大切だと感じた。【学生】